

## チュソクに合わせて韓国を歩くその⑥

運動会も終わり、ひと段落した9月後半、チュソクと言われる秋の連休を利用して、韓国の南、順天（スンチョン）を訪ねました。

もちろん大好きな列車に乗ってです。チュソクは日本のお盆のような感じで、連休になります。韓国では親戚が集まり、お墓参りに行きます。先祖にお膳を供えて各地の家族が一堂に会して、和やかに過ごす日です。だから韓国国内の民族大移動が起こります。この期間列車は、ソーシャルディスタンスを取るために、横4人並びの座席の両端（窓側）しか売られませんでした。そのため、ホテルは予約したのに、現地まで行けないということが…。結局、夫婦近い席ではなく号車もちがうところに。その上、新幹線は取れず、特急が辛うじて予約できました。ところが、ソウル市内からは取れず、郊外まで地下鉄で移動し「水原」からの乗車になりました。ただ、現地での小さい移動や帰りは、大移動（帰省ラッシュ）とずれたのでスムーズに取れました。

水原発 ITX セマウル 1071号で一路光州へ。この路線、新幹線の停まる光州松汀駅の直前で左に折れ、光州駅へと向かいます。このわずか1kmを乗っていなかったもので、全線乗車が目標の私にとっては、ちょうどよかったです。

さて、9:01に乗車し、到着は約3時間半後の12:29定時に光州駅に到着しました。ここから街を少し歩き、地下鉄の駅へ。地下鉄に揺られながら、新幹線が停車する光州松汀駅に戻りました。ここには、トッカルビ通りがあり、韓国ハンバーグトッカルビ発祥の地とされています。その中でも、発祥の店と呼ばれる「松汀トッカルビ1号店」へ。ここはもう一度来たいと思った店で、久しぶりにおいしいトッカルビを昼食でいただきました。食べ終わった後、急行列車で田舎の景色の中を揺られ、2時間20後、順天駅に到着しました。



(韓国版ハンバーグ、トッカルビ)

## 世界遺産「仙岩寺」

全羅南道＝順天市、曹溪山の麓に位置する古刹。百濟時代に建立されたのが仙岩寺です。自然との調和のとれた、素敵なお寺で、世界遺産に登録されています。

順天駅から西へ約25kmタクシーで約40分。到着して、駐車場でタクシーを降りると、背の高い木々に囲まれた溪流沿いの山道を歩いていきます。お寺（本堂）までは、700、800m程でしょうか、樹齢数百年にもなる木々に覆われた道を、森林浴を大いに楽しみながらのんびりと歩いていきました。

途中、「昇仙橋」と言われる石のアーチがあり、写真を撮ったり、彼岸花もきれいでごんぎつねを思い出しながら、それも写真におさめながら歩いていきました。昇仙橋を過ぎると、山門が見え、そこをくぐると大雄殿へ。約30分ほどお寺の中を散策し、お参りもして、秋のひと時のんびりとした贅沢な時間を過ごすことができました。



(自然と調和した「昇仙橋」)



(紅葉にはまだ早く、彼岸花が！)



(山門をくぐると「大雄殿」へ)



(「大雄殿」の前には東西に二つの石塔)

## 世界5大沿岸湿地「順天湾湿地」

タクシーで市内にもどり、帰りの電車まで時間があったので、ラムサール条約にも登録され、世界5大沿岸湿地と言われる、「順天湾湿地」を見に行きました。28万平方mもある干潟は自然の宝庫で、様々な鳥たちが広大な葦の畑の上を飛んでいました。もちろんすべてを回るわけにはいきませんが、葦の畑が広がる干潟の上を、ボードウォークに沿ってのんびりと歩きました。



## ソウルを歩く⑤ソウルの秋(古宮がきれいに紅葉！)

秋になるとソウルは、赤や黄色、本当にきれいな紅葉が楽しめます。自分の住んでいる住宅の庭はもちろんですが、何と言っても、ソウルの紅葉の素晴らしさは、宮殿とのコラボレーションです。美しい装飾の朝鮮時代の古宮と紅葉の美しさのコラボレーションは言葉にならないほどです。

今年はソウルの5大古宮でも有名な「景福宮 (キョンボックン)」「昌徳宮 (チャンドックン)」ではなく、隣接する「昌慶宮 (チャンギョングン)」でもない、他の2つの古宮を訪ねました。

### 慶熙宮 (キョンヒグン)



(もう一度最初の場所に戻された興化門)



(二つ目の崇政門から広場を！)



(門をくぐると素敵な紅葉が！！)



(泉が湧き出る岩！)

1616年建立の慶熙宮は、ソウルの一番西に位置する宮殿で、「西殿」と呼ばれています。興化門をくぐると木々が茂り、ちょっとした公園になっています。近くには、古い電車が置かれている場所もあり、市民の憩いの場になっています。そこを越えると、広大な広場が続き、正面にはもう一つの門が見えてきます。ここをくぐると、崇政殿=正殿があります。その後ろには、泉が内部にあるといわれる岩がありました。

2002年の再建ですが、春の桜もきれいな名所でもあります。

## 徳寿宮（トクスグン）



（宮殿の中枢＝中和殿）



（宮殿の建物と木々と周りにはビル群）



（宮殿ときれいにコラボ！！）



（韓国初の洋館＝石造殿）



慶熙宮から南東へ500mほど。もう一つの古宮「徳寿宮」(トクスグン)があります。(昔は橋で繋がっていたようです) この日は、天気も良く歩いて移動。空気も良くて、とても気持ちがよかったです。

トクスグンは朝鮮第9代国王成宗の実の兄、月山大君の邸宅として造営。その後、宣祖は、秀吉の文禄の役で荒廃したキョンボックンの代わりに王宮としました。古宮の中では珍しく1900年に着工した、韓国初の石造りの洋館＝石造殿があります。1907年には、日韓保護条約を締結した場所としてその名を知られています。